

小学校第3学年音楽科学習指導案（音楽づくり・鑑賞）

上野原市立秋山小学校第3学年10名 指導者 教諭 和智宏樹

1 題材名 「ちいきにつたわる音楽でつながろう」

2 題材の目標

- （1）我が国の音楽の曲想と音楽の構造との関わりに気付くとともに、即興的にリズムを選んで表現する技能を身に付ける。（知識及び技能）
- （2）我が国の音楽の及び楽器の音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたり、我が国の音楽の特徴を生かして即興的な音楽づくりの発想を得たりする。（思考力、判断力、表現力等）
- （3）我が国の音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりや鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）

3 題材

（1）題材について

本題材では、鑑賞と音楽づくりの活動を通して、我が国に古くから伝わるお祭りの音楽や郷土に伝わる音楽に親しみながら、その雰囲気や特徴を感じ取り、よさや面白さを味わったり、音楽づくりの発想を得たりすることができるように指導する。

鑑賞の学習では、鑑賞教材のうち一曲に、児童が住む地域に伝わる音楽を取り上げることで、より興味・関心をもって学習を進められるようにした。鑑賞教材それぞれの音楽の雰囲気や特徴について、児童が実感を伴って聴くことができるよう、体を動かす活動を適宜取り入れて学習を展開していきたい。また、本題材では音楽を味わうための手立てとして口唱歌を活用する。口唱歌を用いることで音色やリズムといった様々な要素を知覚・感受することができるため、音楽を聴きながら一部の楽器の音を口唱歌で歌うなどの活動を通して感じたことや気付いたことを交流し、児童がより興味をもって学習に臨み、我が国の音楽に親しむように工夫していきたい。児童が聴き取ったことや感じ取ったことを交流する際には、〔共通事項〕にある音楽を形づくっている要素をよりどころとしながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて意識付けていく。

音楽づくりの学習では、口唱歌を即興的な音楽表現の手立てとして用いることとした。口唱歌を歌いながら様々なリズムパターンを即興的につくり、実際に締太鼓での演奏を経験することで、児童が楽しみながら音楽づくりの発想を得ることができるように展開を工夫していく。鑑賞活動と同様に口唱歌の言葉が表す音色やリズム感と音楽とが相乗効果となり、より豊かな音楽表現につながっていくと考えた。

鑑賞と音楽づくりの両方の学習において、口唱歌を歌うことと実際に音を聴いたり出したりすることを相互に関わらせることで、児童はより深く音楽を味わったり思いや意図をもって表現したり

できるはずである。2つの領域の学習を関連させ題材を構成することにより児童が我が国に伝わる音楽の特徴やよさに気づき、親しみをもてるようにしていきたい。

(2) 指導事項との関連

A 表現	(3) 音楽づくり ア (ア)・イ (イ)・ウ (ウ)
B 鑑賞	ア・イ
〔共通事項〕	(1) ア・イ
	本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素 ・締太鼓をはじめとする和太鼓や鉦、笛などの「音色」 ・我が国の音楽特有の「リズム」

(3) 教材

- 鑑賞教材 「祇園囃子」(京都市祇園祭)
「ねぶた囃子」(青森市ねぶた祭)
「神田囃子」(東京都神田祭)
「無生野大念仏」(山梨県上野原市秋山地区)

4 児童の実態 ※省略

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①[知] 我が国の音楽の曲想と音楽の構造との関わりに気付いている。 (鑑賞) ②[知技] 口唱歌と締太鼓の表す音色やリズムの組み合わせの特徴に気づき、設定した条件に基づいて、即興的にリズムを選んで表現する技能を身に付けて音楽をつくらしている。(音楽づくり)	[思]① 我が国の音楽及び楽器の音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、それらの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 (鑑賞) [思]② 我が国の音楽及び楽器の音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、即興的にリズムパターンのつくり方を工夫し、音楽づくりの発想を得ている。(音楽づくり)	[態]① 我が国の音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりや鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (鑑賞、音楽づくり)

6 指導と評価の計画（4時間）

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価の観点			☆Aと判断する児童の状況例 ■個別な働きかけを要する児童への支援
		知・技	思	態	
	◎日本各地に古くから伝わる音楽や自分たちの住む地域の音楽を知り、その特徴について気付いたり、曲全体を味わって聴いたりする。				
1	○祭囃子の大きな特徴に気付く。 ・「祇園囃子」、「ねぶた囃子」、「神田囃子」の冒頭部分を聴き、「どこの国の」「どんな（時の）音楽」かについて想像する。 ・想像したことを交流しながら、曲の特徴についても話し合う。				
2	○祭囃子の特徴的な部分に焦点を当て、その特徴について気付く。 ・「祇園囃子」「ねぶた囃子」を中心に聴く。 ・クイズ形式、身体運動を伴いながらくり返し曲を聴き、特徴に気付いたり音楽に親しんだりする。 *何種類の楽器で演奏しているか *楽器の音や声に注目し、真似をしながら ・気付いたことを全体で交流しながらまとめる。 ○地域の音楽について知り、その特徴に気付く。 ・「無生野大念仏」を聴く。 ・自分たちの地域にも古くから伝わる音楽があ	① [知]			①[知] ☆楽器の音色やそれぞれの楽器のリズムパターンなどの特徴と曲想との関わりについて聴き取ったことや感じ取ったことが言葉や体の動きで明確に表れている。 ■興味をもった楽器やその音色、リズムパターンを具体的に尋ね、友だちの発言に対して似たような考えはないか確認したり、友だちの体の動きに注目して真似をするよう声をかけたりする。

	ることを知る。 ・前の2曲と同様、楽器の種類や太鼓のリズムに注目しながら聴く。 ・曲の特徴について話し合ったり前に聞いた3曲の特徴と比べたりしながら特徴をまとめる。 ○「神田囃子」について、口唱歌を手がかりにしながら音楽を味わう。 ・口唱歌について知り、真似をして歌う。 ・曲の中に口唱歌と合うリズムを見つけながら聴き、唱歌を口ずさみながら曲を聴く。(口唱歌の一部のみを歌ったり、役割分担をして歌ったりしながら楽しみながらくり返し音楽を聴く) ・気付いたことをワークシートに記入し、全体で交流しながらまとめる。				思 ① 思① ☆音楽から聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて複数の要素から考え、音楽のよさを見いだしたり、音楽を味わって聴いたりしている。 ■ワークシートに書かれている言葉について確認し自分が聴き取ったり感じ取ったりしたことはないか一緒に考える。
3 本 時	◎締太鼓のリズムを口唱歌で表すなどの活動を通して音色やリズムの特徴に気付き、音楽づくりの発想を得ながら即興的にリズムパターンをつくり、友だちと交流したりつなげて演奏したりする。 ○口唱歌を中心に前時の学習をふり返し、本時の学習について見通しをもつ。 ・神田囃子の楽器やリズムについて簡単に振り返る。 ○口唱歌の表すリズムや音色に気付き、即興的に表現する。 ・「神田囃子」の締太鼓で使われていた口唱歌を確認する。 ・本時で使う口唱歌を確認し、みんなで歌ったり手で打ったりする。 【本時で使う口唱歌】 四分音符…「テン」 八分音符…①「テケ」②「ツク」 四分休符…「ヤッ」「ハッ」(児童が選択) ・教師の真似をしたり、短いリズムパターンをつなげたりしながらリズムづくりに親しむ。 ○口唱歌を手がかりにしながら即興的に表現し、音楽づくりの発想を得る。 ・8拍のリズムをつくる。 ・いろいろなリズムパターンを試しながらお気				②知技 ☆口唱歌を使いながら様々なリズムパターンを組み合わせができることに気付き、様々なリズムパターンを組み合わせで即興的に表現することができている。 ■神田囃子の締太鼓が演奏していたリズムについて一緒にふり返し八分音符(テケやツク)や休符をどの拍に入れるか一緒に考える。実際に演奏する際には、拍の流れを感じられるよう支援しながら一緒に口唱歌を歌う。 思② ☆口唱歌を使いながら様々なリズムパターンについて試行錯誤しながらつくり、時には設定条件を拡張するような表現方法について試すなど、表現したい音楽について思いや意図を明確にもって工夫している。 ■違うリズムパターンを一緒に聴き比べ、どちらが良いか理由と共に尋ねながら表現の工夫をする。

	に入りのリズムパターンを見つける。 ・できたリズムを発表したりつなげたりしながら交流する。 ・友だちの表現を参考にしながら表現を工夫する。				
4	○友だちとつなげ方を考え、表現を工夫する。 ・ペアになり、2人でリズムをつなげたり、交互にリズムを打ち合ったりする。 ・速度の変化やリズムパターンの特徴などを話し合いながら演奏する。 ・いくつかのペアが発表する。 ○即興的な演奏の仕方を工夫し、我が国の音楽に親しむ。 ・つなげ方を話し合いながらいろいろな形で演奏し、即興表現を楽しむ。	② 知 技	思 ①	態 ①	態① ☆複数の楽器や音色に注目しながら音楽を楽しみ、他の祭囃子や自分の住む地域の音楽と比べて聴いている。音楽の細かな部分についても音色やリズムといった要素を手がかりにしながら粘り強く何度も音楽を聴き、音楽のよさや面白さ、美しさについて考えようとしている。 ☆友だちの演奏に興味をもちその表現を参考にしたり、既習事項を基にしたりしながら自分の表現をより良いものになしようと試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいる。 ■学習活動の一部でも（動けること、書けること等）できていることを認めながら意欲を高められるよう声かけすると共に、友だちの学習の様子の良いところを共有し、友だちの真似をしたりヒントにしたりすることも大切な学習であることを伝えながら学習を楽しむことができるよう支援する。 ■学習活動の楽しさのみに意識が向いてしまう場合には、学習のめあてについて再度確認する。

8 本時の学習

(1) 日時 2020年12月15日(火) 13:50～14:35

(2) 場所 上野原市立秋山小学校 音楽室

(3) 本時の目標

- ・口唱歌と締太鼓の表す音色やリズムの組み合わせの特徴に気付き、工夫しながら即興的にリズムを選んで表現し音楽づくりの発想を得る。

(4) 学習過程

分	主な学習活動・内容	指導上の留意点
5分	<常時活動> ・拍の流れにのって体を動かす活動 ・簡単なリズムを真似したり創作したりする活動	・即興的な表現の基礎的な力の育成と共に楽しみながら表現することもねらいとする。
5分	○口唱歌を中心に前時の学習をふり返り、本時の学習について見通しをもつ。 ・祭囃子に使われていた楽器や締太鼓の演奏には口唱歌があったことを振り返る。 『テン』や『テテ』があった 『ツク』もあったよ 『テテ』と『ツク』は同じリズムだけど音が違ったね 『お休み(休符)』もあったよ	・神田囃子を流しながら口唱歌を歌ったりリズムを打ったりする。 ・前時の学習で聴いた神田囃子に使われていた口唱歌について確認し、本時では「テン」と「テテ」、「ツク」、「ヤッもしくはハッ」という口唱歌を用いることを伝える。 ・「テテ」「ツク」の違いについては鑑賞の学習を振り返りながら、実際に締太鼓を打って確認する。「ヤッ」「ハッ」については、自分の表現で使いたいものを使うようにする。
祭りばやしにちょうせん！ 口唱歌をつかって たいこの音楽をつくってみよう		
10分	○口唱歌の表すリズムや音色に気付き、即興的に表現する。 ・本時で使う口唱歌を確認し、みんなで歌ったり手で打ったりする。 【本時で使う口唱歌】 四分音符…「テン」 八分音符…①「テテ」②「ツク」 四分休符…「ヤッ」「ハッ」(児童が選択)	・大型テレビで提示し視覚化する ・様々なリズムパターンに楽しみながら親しむことをねらいとし、自由な雰囲気では表現できるようにする。 ・撥をもって演奏することを想定し、手で腿をたたくようにする。 ・ゲーム感覚でリラックスしながら活動することで一人一人が安心して表現できる雰囲気を

	・教師の真似をしたり、短いリズムパターンをつなげたりしながらリズムづくりに親しむ。 ・提示した口唱歌に合わせて手を打つ ・教師（リーダー）のつくった口唱歌を歌ったり打ったりする。 ・口唱歌で短いリズムパターン（1小節4拍）をリレーする ・口唱歌と共に手を打ってリレーする	つくる。 ・児童がリズムをつくったときは、一人で表現できたこと、つくったリズムを評価し、リズムの特徴をとりあげ、この後のリズムづくりのヒントとなるようにする。 ・打つのが難しいリズムパターンなどがあった場合はその特徴についても確認する。
20分	○口唱歌を手がかりにしながら即興的に表現し、音楽づくりの発想を得る。 【リズムづくりの条件】 ・本時で使う口唱歌を歌いながら表現する。 ・口唱歌の中の「テケ」「ツク」はどちらか一つ以上は使う。 ・1人8拍を基本の長さとする。 ・いろいろなリズムパターンを試しながらお気に入りのリズムパターンを見つける。 ・できたリズムを発表したりつなげたりしながら交流する。 ・友だちのつくったリズムパターンの特徴について交流しながら自分の表現の参考にする。 「長い音を多めに使っている」 「細かい音を後半に入れた」 「休符を最後に入れている」 「『テケ』と『ツク』を両方使っている」 ・交流後、もう一度自分の表現について作り直す。 ・数人の児童が発表をする。	・児童の実態をみながら「テン・テン・テン・テン・テン・テン・テン・ヤッ」を基本の形として、「テケ」や「ツク」「ヤッ、ハッ」を少しずつ入れていきながらいろいろなリズムパターンを試すようにする。 ・はじめは手で腿をたたくことから始め、撥をもって板（太鼓の代わり）を打つ。 ・発表の際には締太鼓を打つようにする。 ・発表後に授業支援ツール（ミライシード）を使ってワークシートに記録する。 ※児童の様子を見ながら、発表の前に記録し、発表することも考えられる。 ・一人一人の作品を大型テレビに映す。
5分	○本時の学習を振り返る。 「口唱歌を使ってリズムをつくるいろいろな音楽ができる」	・児童と一緒に本時を振り返りながら、即興表現をして感じたことをまとめていく。 ・次時でも様々な表現方法の工夫をして音楽を楽しむことを伝える。

ちいきに伝わる音楽って、どんな音楽？

名前 _____

☆日本に古くから伝わる音楽をきいて気づいたことを書こう

きんぼやし 祇園囃子 (祇園祭り・京都府)	ねぶたばやし ねぶた囃子 (ねぶた祭り・青森県)	無生野大念仏 (上野原市秋山)	かんだばやし 神田囃子 (神田祭り・東京都)
はやい ・ 強い ・ はずんでいる ・ こまかいリズム ・ あかるい ・ やわらかい ・ 大きい おそい ・ よわい ・ なめらか ・ 長い音 ・ くらい ・ かたい ・ 小さい			
・ きこえた音をカタカナで書こう (ドンドン、カンカン、シュッシュなど) ・ 気に入った音に☆をつけよう			
楽しい ・ はげしい ・ もりあがる ・ きれい ・ しずか ・ 落ち着く ・ おとなしい ・ ～～みたい			

☆今まで学習したことを思い出して、^{かんだばやし}神田囃子をだれかにしょうかいしましょう

「^{かんだばやし}神田囃子」のよいところは、

_____です。

どうしてかという、

「^{かんだばやし}神田囃子」のよいところは、

_____です。

どうしてかという、

「^{かんだばやし}神田囃子」のよいところは、

_____です。

どうしてかという、

Internet Explorer window showing a worksheet titled "ミライシード". The toolbar includes options like テキスト (Text), 問題文 (Problem Statement), 選択肢 (Choices), マーキングテキスト (Marking Text), スタンプ (Stamp), ペイント (Paint), 図形 (Shapes), ファイル (File), Webリンク (Web Link), グリッド表示 (Grid Display), and ほぞん (Save).

	テン	てけ	ツクウ	
1				
2				
3				